# 建築作品部門

## 蔵を活かしたコミュニティーデザイン

中山道旧市街地の小規模エリア計画

埼玉県本庄市

# 本庄・宮本蔵の街

■江戸時代中山道の宿場町で栄えた本庄は明治大正と絹の集積地としてまた繁栄しました。しかし近年人口減少の地方都市と同様、商店街は閑散としています。この旧市街地の酒問屋跡地を、蔵を残し新しいコミュニティーとして計画しました。
この計画の特徴は、宅地分譲の資金と蔵の賃貸料で全計画の資金を捻出したことで、歴史的建築を活かした景観つくりが、公的な助成金なしに可能になった点です。この手法は他の地域でも活かすことが可能だと考えています。また計画の発端の市民活動をうまく事業ベースにはこぶ役割を建築家が積極的に担うことが大切だと感じました。

応募代表者: 戸谷正夫

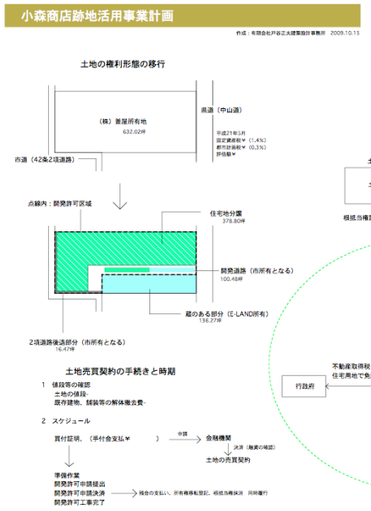
戸谷正夫建築設計事務所

昭和54年工学院大学大学院修了
昭和54年波多江健郎研究室
平成1年アトリ　リ・ガ・テ都市建築計画
平成4年戸谷正夫建築設計事務所

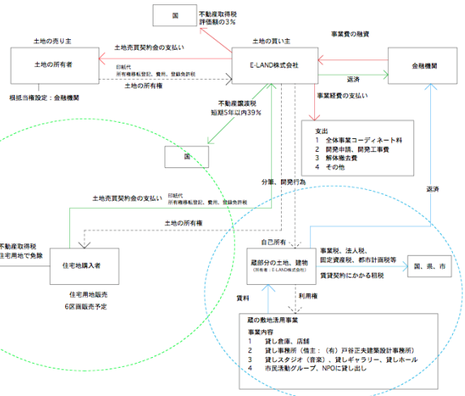
それぞれの地域ごとに異なった環境や文化があり、そこに暮らす人々の今の生活も千差万別です。
たえずあしもとを見ながら、みのまわりの空間をデザインしていけたらといいなと思っています。

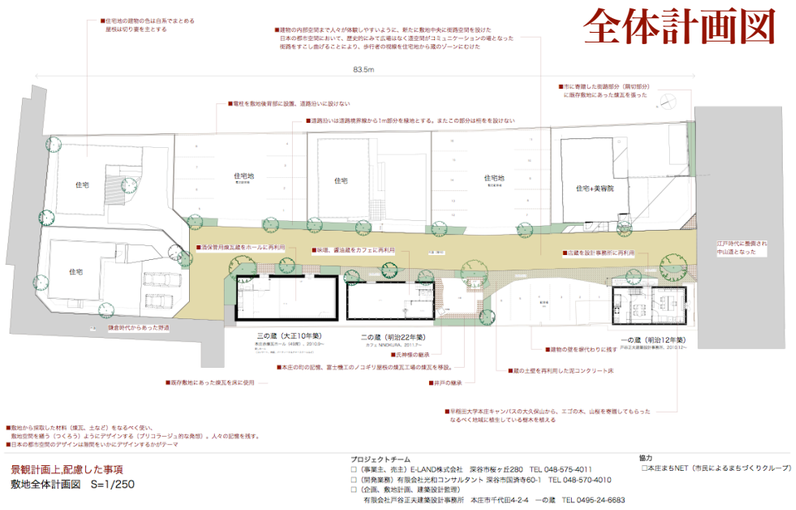
## 2009酒問屋、小森商店閉店

オーナー、市民、建築家、大学、行政、皆さんと見学会＆跡地利用を考える




## 補助金無しの事業計画
## 6戸の住宅オーナー決定




## 3つの蔵　設計事務所、カフェ、ホール（当初）

## 全体計画図